

「本来の姿に戻れ」 イザヤ書 52章 1-12節

2024年10月20日 礼拝

序論)

- 現代の課題: 「自分らしさ」を探す人が多い
 - 2018年の一般社団法人倫理研究所の調査: 84.3%が「自分らしさを探ることが大切」と回答
 - 約60%の人が「どんな場面でも一貫した自分らしさを維持したい」と考えている
 - しかし、自分らしさの基準が不明確なため、多くの人が悩んでいる現状がある
- バビロン捕囚時のユダヤ人も本来の自分を見失っていた
 - イザヤ書52章で、【主】は「本来の姿に目覚めよ」と命じている

1. 神様からの命令 - 本来の姿に目覚めよ(52:1-2)

- 52:1a 目覚めよ、目覚めよ。力をまとえ、シオンよ。
 - 51章から数えると3回目の「目覚めよ」という呼びかけ
 - 1回目は51:9で、イスラエルが【主】に対して「目覚めよ」と呼びかけた
 - 2回目は51:17で、【主】がイスラエルに「目覚めよ」と命じている
 - バビロン捕囚による誤解: 捕囚の苦しみを神様の怒りと誤解していた
 - 51:17で、【主】は「憤りの杯はすでに飲み干した」と語り、怒りが終わったことを示された。神様の怒りは終わり、【主】の民として目覚めるべき時が来た
- 52:1b-2 美しい衣をまとえ、聖なる都エルサレムよ。
 - 美しい衣: 大祭司のエポデが象徴する、神様の祭司としての役割
 - 祭司の王国としてのイスラエル
 - 出エジプト記19:6「あなたがたは祭司の王国、聖なる国民となる」
 - 立ち上がれ: 神様の民として本来の座(祭司)に戻り、奴隷状態から解放されるよう命じられる

2. 本来の姿を取り戻すための【主】の御業(52:3-4)

- 52:3 ただで売られ、金を払わずに買い戻される
 - イスラエルがバビロンに捕らえられたのは、バビロンの力ではなく、神様の主権による
 - 神様がバビロンから何も受け取らずにイスラエルを彼らの手に渡したが、同様にイスラエルを買い戻す際にも代価は払わない
 - 例「お客様は神様です」は、客が代価を払っているから成り立つ。しかし、バビロンは神様に代価を払ったわけではないので、神様の主権によってイスラエルはバビロンに連れて行かれ、神様の主権によってバビロンから解放される
- 神様の主権と民の解放
 - イスラエルの運命は神様の主権に基づいており、バビロンの手柄ではない
 - イスラエルを解放する権利を持っているのは神様だけである

3. 神様様の思い(52:5-6)

- 52:5 神様の民の悲惨な現状
 - イスラエルはただで奪われ、支配者たちは嘆き悲しんでいる
 - 神様の民がバビロンでの苦難に嘆き、【主】の名が侮られている状況
- 侮っているのは誰か
 - バビロンではなく、イスラエル自身が神様の名を軽んじている

- 彼らは神様に対して絶望し、希望を持たないことによって、【主】を侮る行為をしていた
- 52:6 わたしの名を知るようになる
 - 神様はイスラエルに【主】の名を知らせて、臨在を示す
 - 神様はイスラエルに「ここにわたしがいる」と語り、共におられることを示す
 - 私達は【主】の臨在を知り、【主】が共にいることを知ることが大切

4. 王の帰還を受け入れて語る者(52:7-8)

- 52:7 良い知らせを伝える者の美しさ
 - 神様を知り、神様が王であることと、平和と救いを告げ知らせる者は【主】の前で美しいとされる
 - 「美しい」という語は、美しい・ふさわしいと訳すこともできる
 - 神様の名を知った者が他者に伝えることは、神様にふさわしい行いをしている
- 賛美と証しの声
 - 神様がシオンに戻ることを目の当たりにした見張りたちは、喜び歌う(52:8)
 - 世界中に示される神様の救い
 - 【主】の救いはエルサレムに留まらず、地の果てまで知らされる(52:9-10)

5. 買い取られた者へのもう一つの命令(52:11-12)

- 52:11 汚れたものに触れず、身を清めよ
 - 神様は買い取られた者へのもう一つの命令として汚れた環境から去るよう命じられる
 - 汚れを避ける生き方: 神様の民として、誘惑や罪から離れるべき
 - 性的誘惑や金銭的誘惑などから離れ、【主】が意味嫌われる汚れから離れる
 - しかし、自分の力では汚れから離れることができない
- 神様の守りと導き
 - 神様は焦らないでいいといわれている
 - 神様は、私たちの前を進み、後ろを守る(52:12)
 - 罪から離れる道は神様によって備えられ守られる、私達は神様の導きに従えば良い
 - 慌てることなく、焦らずに神様の守りを信頼することが大切

結論)

- 私たちの本来の姿とは？
 - 私たちは【主】に目覚めよと命じられ、神様に買い戻された者
 - 【主】の民として美しい衣をまとい、福音を証しする者
- 【主】を侮らない
 - だから、いつまでも絶望せず、神様の救いの臨在を信じ、他者に大胆に伝えることが重要
- 汚れから離れる道を備えてくださる神様
 - 神様は、私たちが清く生きるよう命じつつも、焦らずに神様の導きに従い、罪や汚れから離れようと励ましてくださる
- 信頼して歩む
 - 【主】が共におられ、「ここにわたしがいる」と語ってくださる神様を信頼し、福音を証しし、罪から離れて歩もう